



長野県支部だより

小さくとも咲き誇る桜

前号でも記しましたが、南北に長く広がる長野県は山脈や盆地が多く起伏の激しい地形を抱えており、地域によって気候が異なります。そのため、春は緩やかに桜前線が北上していき、長期間にわたって県内各地で咲き誇る桜の花を楽しむことが可能です。



長野県支部のある上伊那地域にも桜の名所として全国的に有名な「高遠城址公園」があり、樹齢130年を超える20本の古木をはじめとする約1500本もの桜が上伊那地域に春の訪れを報せてくれます。

高遠城址公園の固有種「タカトオコヒガンザクラ」はソメイヨシノと比べると花は小ぶりですが赤みが強く、公園全体が薄紅色に染まり、ソメイヨシノの淡い色合いとはまた違った趣の美しさを楽しむことができ、離れた街中からでも鮮やかな色彩を望めます。その美しさは、全国、または全世界に並ぶものがないほど優れていること、という意味合いを持つ「天下第一」の桜、と称されるほどです。



そして、桜前線の進行に沿って上伊那地域から更に北上した先、わさびで有名な安曇野市には「光城山(ひかるじょうやま)」という山があり、麓から頂上までの登山道一帯に咲き誇る桜の様子が登り竜にも例えられています。

今年も昨年に続いて心置きなくお花見を楽しめそうもないことから、この場で小さなお花見を共にしながら、燦る情熱を存分に燃え上がらせるスポーツの祭典を控える夏を心待ちにしましょう。